

オープンキャンパス2023（大学院説明会・体験入学説明会）

担当教員 2023年度担当教員

総合研究大学院大学 分子科学コース 准教授 瀬川 泰知

令和5年4月22日（土）、zoomを用いたオンライン形式で分子研オープンキャンパスを開催しました。本年度は総研大先端学術院の初年度であり出願や大学院入試が早まる可能性があったため、例年より1ヶ月半ほど早い4月下旬の開催となりました。

周知は、分子研twitterの活用、ポータルサイト（chem-station.com、tayo.jp）への出稿、各教育機関へのポスター送付などを通じて広報活動を1ヶ月間行いました。当日は午前10時に開始し、所長と大学院委員長による分子研・総研大の説明ののち、研究室紹介を各5分でリアルタイムもしくは事前撮影動画を流す形式で行いました。今回は新たな試みとして、昼食休憩の1時間を使い、参加者が在学生4名とラフに話すこ

とのできる座談会を開催しました。午後はブレイクアウトルームを使用したラボツアーを行い、3もしくは4研究室並列の4回制（1研究室40分）として、最大4研究室を回れるようにしました。また、在学生からの「進学先を探す際に、研究室紹介動画のアーカイブが揃っていると良かった」という意見を踏まえて、5分紹介動画を8研究室分、および総研大の説明動画をYoutubeにアップロードしました。

事前登録22名、実際の参加者15名と、例年より少ない人数となりました。これは、年度の替わり目のため周知が十分に届かなかったことや、分子研・総研大を進学先候補に考えるタイミングとしては少し早い可能性もあります。とはいえオープンキャンパス参加者のうち見学・体験

入学申込者は例年と遜色ない人数があるとのことなので、開催の意義は十分にあったものと思います。大学院説明会の開催方法や回数、またオンラインでのオープンキャンパスイベントの復活など、分子研を効果的にアピールする手段を議論していく必要があるかと思えます。

2年連続の担当でしたが日程の前倒しなどで色々ご迷惑をおかけいたしました。参加された先生方のご協力により大きな問題なく進行できました。また総研大担当秘書の田中さん、戦略室の原田さん永園さん、技術推進部の内山さんには準備から当日の配信まで全てサポートいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

